

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	11.21(日)	修斉	発言者A	計画（案）の説明では、メリットしか挙げられていない。デメリットはどのようなものがあるのか。	<p>適正規模・適正配置の取組を進めることにより生じる課題として、一部の小学校が閉校となる案のため、閉校する学校に通学している児童の通学距離が長くなることが挙げられる。</p> <p>教育委員会として、そのような通学環境が変わる児童に対し、安心安全を確保する対策は、最優先で進めなければならないと認識している。</p> <p>また、小学校が閉校となれば、これまで小学校区単位で活動してこられた地域コミュニティへも影響が及ぶと考えている。</p> <p>当該地域における、市民協議会等の活動について、学校再編に合わせて、活動単位を変更するようなことは考えていない。活動のあり方については、地域の皆様が主体的に判断するものと認識しているが、活動場所の確保等の支援については、市長部局と一体的に対応していきたい。</p>
2	11.21(日)	修斉	発言者B	いじめの改善等は、この計画（案）で小中一貫校にした場合、どうなるのか。	<p>学力だけでなく、生徒指導面でも効果が得られる可能性がある。</p> <p>小学校からいじめを引きずり、中学校に持ち上がってしまった際に、中学校側が詳細な情報を得られていなかった、というケースもある。小学校と中学校が連携する中で、解決に向けて取り組んでいく。</p> <p>施設一体型小中一貫校であるか否かに関わらず、小中連携を発展させた小中一貫の態勢で対応していくことが、効果的だと考えている。</p>
3	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>修斉小学校や天神山小学校が統合するということだが、元々人口が多い山直北地区、光明地区においては、市の都市計画に入っている一方、修斉地区、天神山地区は入っていない。</p> <p>今後、泉州山手線が修斉・天神山地区まで延伸する際には、児童数の増加も考えられると思う。</p> <p>そこで、両校を統合するにあたって、学校の跡地はどのように運用するつもりなのか。</p>	<p>小学校は、地域の皆様に様々な形で利活用されてきたと認識している。</p> <p>仮に学校が閉校となった際の跡地活用についても、地域においては、例えば活動場所として必要だ、といった様々なご意見があるかと思う。しっかりと意見交換を重ねながら、教育委員会と市長部局が連携し、対応していく。</p>
4	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>開発等は未来の話なので予想は難しいところだが、修斉・天神山地区における今後の児童数は減少していく、という前提に立った教育委員会の考え方ということではよいか。</p> <p>道路の延伸による、児童数増加は考えていないのか。</p>	<p>教育委員会だけでなく、市長部局のまちづくり関係課とも協議しながら、実施計画（案）を策定している。</p> <p>仮に、大きな開発が急に進むことになり、児童生徒数が急激に増加するということが見込まれるれば、再検討が必要になる可能性はあるが、現時点では、そこまで児童生徒数が増加するというのではなく、逆に減少傾向が続くと見込んでいる。</p>
5	11.21(日)	修斉	発言者D	修斉小学校の耐震工事はいつ行われ、費用はどれくらいかかったのか。またトイレ工事においても、時期と費用を教えてください。	<p>手元に資料がなく、工事費については把握していないが、耐震改修は完了している。</p> <p>トイレについても、一部洋式化が進んでいる。今年度も、3基だけだが、洋式化を実施する。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	11.21(日)	修斉	発言者D	<p>費用がいくらかったかを知りたかったが、恐らくたくさんかったのだと思う。</p> <p>100年以上の歴史がある修斉小学校が、きちんと修繕され、子どもたちが快適に過ごせる環境となっていることは、感謝する。</p> <p>それなのに、なぜ突然閉校することになるのか。1クラスの人数が少なければ、子どもたちにより行き届いた教育ができると思う。</p> <p>コロナ禍において、保護者も、子どもも、教員も不安でいっぱいである。不登校も増加していると聞く。そのようなときに、通い入れた学校をつぶすなんて考えられない。</p> <p>統廃合をすれば、学校が遠くなり、中学生が怖くて学校へ行けなくなる子どもが増えると思う。良いことと思えない。一旦計画を凍結してほしい。</p>	<p>学校には歴史と伝統があり、地域の皆様に見守ってきていただいたということは十分に認識している。</p> <p>しかしながら、教育委員会としては、学校に通う子どもたちが、最良の教育を受けられるよう、子どもたちの教育を最優先すべきだと考えている。</p> <p>小規模化が進展する学校の児童生徒のことを考えると、教育環境のさらなる充実、持続可能な教育環境づくりのため、現段階から適正規模・適正配置の取組が必要だと考えている。</p> <p>小規模校のすべてを否定するものではなく、メリットもあると認識しているが、児童生徒が今後、高校、大学、社会へ出ていく中で、たくましく生き抜く力を育むため、小・中学校のうちから一定の集団規模を確保することが、教育委員会の責務だと考えている。</p> <p>また、費用をかけて施設を修繕したのに、という点について、この取組に関しては、地域の皆様の意見を十分お聞きし、例え（仮称）学校開校準備委員会が設置された場合でも、そこから5年程度かかる、長いスパンの取組だと認識している。</p> <p>適正化対象校だから、在学中の児童生徒の教育環境を放置する、ということではなく、在学中の児童生徒のためにも、現状できる限りの環境整備が必要だと考え、これまで取り組んできている。</p> <p>また、小中一貫校において、中学生が怖い、という児童が出てくる可能性は考えられる。設置にあたっては、児童生徒の安心安全を第一に考えるべきだと認識しており、小学1年生から中学3年生までが気持ちよく学校へ通えるよう、先行事例の研究を重ねていく。</p>
7	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>今回の説明会は、単独の校区が対象となっているが、今後、例えば修斉校区と天神山校区や、通学区域見直し対象の門前町等を含めた合同での説明会が必要だと思う。検討可能か。</p>	<p>今回の実施計画（案）地域説明会は、小学校区単位で2回開催しているが、この2回で終わりということではなく、今後、各地域に入って引き続き協議していく予定である。</p> <p>その際に、校区単位で実施するのか、ご提案いただいたような形で実施するのかを含め、地域の皆様のご意見を伺いしながら検討していく。ただ、地域により協議の形も異なってくると考えているため、現時点では実施形式を確定させていない。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
8	11.21(日)	修斉	発言者E	<p>冒頭、教育長から、少子化により、小・中学生の数がピーク時から半減していると説明があった。そのことは自分も感じており、広報を見るたびに人口が減っていることを、危機的だと認識している。</p> <p>一方、都市計画があるのであれば、今後人口を増やしていくことも検討しているのだと思う。</p> <p>岸和田市では、地域で活発に、長い歴史の中で継続してきただんじり祭があり、それを支えてきたのは地域。</p> <p>ただ、今後2期計画、3期計画と続き、結局岸和田市で11の中学校を6校にして、24小学校を何校にするのか、ということがわからなくなってきた。そんな状況で、子育て世代が岸和田市で子育てをしようとは思えないのではないかな。</p> <p>人口が減って子どもが減ってきたから統合するという、安易な考え方であり、計算は成り立つのかもわからないが、子育てしにくい岸和田市ということが浸透し、子育て世代が入ってこない、税収は伸びない、高齢者ばかりと、市がより過疎化していく、住みにくくなっていくのではないかと心配している。</p>	<p>岸和田市の人口減少状況を市長部局で分析したところ、大阪府内他地域に比べて、特に30代前後の子育て世代における社会減が目立つという結果であった。対策として、教育、子育て面に、より力をいれていく必要があると分析しており、教育委員会としても同じ考えである。</p> <p>その状況において、なぜ小・中学校の適正規模・適正配置の取組を進めるのか、それは逆ではないか、というご意見だと解するが、教育委員会としては、小・中学校の数を残し、小規模校における課題を放置することが、果たして教育の充実なのか、という点に重きを置いており、教育の充実に向けてには、やはりこの取組が必要だと考えている。</p> <p>国の方針にもある、主体的・対話的で深い学びを進める上で重要な、集団活動・学習ができなくなることへの危機意識を強く持っており、岸和田市の教育レベルを向上させる上でも、適正規模・適正配置の取組が不可欠であると認識している。今後も、地域や保護者の皆様と十分に話し合い、より良い方向性を見出していきたい。</p> <p>なお、中学校の数が6校に減るという話があったが、中学校区を超えて再編することは考えておらず、11校のままである。仮に現状の計画（案）どおり取組が進んだとすれば、小学校が6校閉校となるため、小学校の数は18校になる。</p>
9	11.21(日)	修斉	発言者E	<p>中1ギャップに関して、小中の連携の大切さはよくわかる。小学校でのいじめを中学校で引きずらないように、順調に教育が受けられるように、小・中学校の教員が協力・連携することは理解できるものの、小中一貫校にしていく意味はないのでは。</p> <p>イメージ図を見ても、1つの運動場を小・中学生で共有するとすれば、中学生が部活動をするから小学生は早く帰らなければいけない、ゆっくり遊ぶ時間も場所もない、というような、お金をかけない、付け焼き刃な印象を受ける。</p> <p>子どもは一人ひとりが大切にされることが求められる。小規模であることでのデメリットはあると思うので、そこに対して丁寧に話し合う中で、最終的に統合ということなら理解できるが、今の進め方は、上からすべて決めて、というもの。説明も進めていくことが前提のものにしか聞こえない。このまま岸和田市が子育てしにくいまちになるのではと不安。</p> <p>コロナ禍で小・中学校の課題も大きくなる中、今この時期にしなければならぬ取組とも思えない。白紙撤回を求める。</p>	<p>中1ギャップについて、「中1ギャップとして一括りにしていいのか」という意見もある。ただ、文科省において中1ギャップという言葉を否定しているわけではないため、岸和田市小中一貫教育基本方針内でも使用しているところ。</p> <p>小学校から中学校に進学する際の、様々な環境変化への対応が重要だと認識しており、少しでもスムーズに小・中学校の受け渡しをすることが望ましく、その上で、施設分離型、施設一体型という形態に関わらず、11中学校区すべてにおいて、小中一貫教育を推進することが大切だと考えている。</p> <p>なお、施設一体型の方が、児童生徒や教員の移動が容易といった、物理的なメリットがあり、効果は期待できると認識している。</p> <p>なお、小中一貫校における運動場等の施設について、資料で示したのはあくまでもイメージ図である。計画（案）どおり進めていくことになれば、設計段階において、校舎のレイアウト、小・中学生の活動場所確保についてもしっかりと検討していく。</p> <p>また、適正規模・適正配置の取組と、コロナウイルス等による不測の緊急時において三密を避けることはまったく別の取組であると考えている。</p> <p>感染症対策については、学校の規模に関わらず、国や府のガイドラインに基づき、適切に対応しているところ。今後も継続していく。</p>
10	11.21(日)	修斉	発言者F	<p>学校が統合された場合、自動的に児童数が増えるが、例えば災害が起きて、保護者が迎えに行かなければならない状況となった場合、現在の葛城中学校に保護者がすべて集まれば、パニックが起きる状況になると思うが、そのあたりは課題として挙がっているか。</p>	<p>岸和田市内の小・中学校は、現在すべて避難所に指定されている。このことを含め、実施計画（案）策定に際しては、危機管理部門をはじめとする市長部局と協議を重ねている。</p> <p>災害の規模にもよるが、今ご指摘いただいた内容についても、今後、計画（案）をより具体化する中で、協議していく。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
11	11.21(日)	修斉	発言者F	適正規模・適正配置の取組の目的として、国基準での教員を確保することを挙げていたが、例えば市の保育所では職員数を国基準よりも少し多めに配置している。そういったお金の使い方ができないのか、と思うがどうか。	<p>岸和田市では、小学校で段階的に35人学級編制にするという、国の基準に従い、対応している。</p> <p>市単費で教員加配をすればよいのでは、というご意見をいただいたが、例えば東京都のように財政的に余裕のある自治体は、国の基準を超えて、30人学級編制等が可能、一方で資金の乏しい自治体はそれができない、というアンバランスを生むことが、公教育のあるべき姿なのかということを考えると、それは好ましくないと考えている。</p> <p>より一層の少人数化が必要であれば、国の標準として、国が措置すべきであって、市町村により差異が生じることは、公教育の公平性を損なうものであると考えており、財政状況に関わらず、市町村単独での対応はすべきでないと考えている。</p> <p>一方、少人数学級の必要性は理解しているので、国や府に対し、これまでも機会あるごとに少人数学級の実現について求めてきた。今後も、国が、国の責任において対応すべきということ強く求めていく。</p>
12	11.21(日)	修斉	発言者F	では、現在岸和田市から国に対して基準を見直すべき等、具体的に呼びかけ・問いかけをしているのか。	例えば、府内の教育長が集まった、都市教育長会議の中で、国・府に対して30人学級を実現すべきという具体的要望を実施しているところ。
13	11.21(日)	修斉	発言者G	幼児教育を含めた一貫教育について、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を進めていくとあるが、仮に学校が統廃合された場合、そこにある幼稚園はどうなるのか。	<p>現在、今回の地域説明会とは別に、幼稚園と保育所の再編に係る説明会を順に実施しているところ。</p> <p>小学校が閉校となる予定の場所にある幼稚園について、幼稚園だけが残るということは考えていない。</p> <p>幼稚園と保育所の再編と、小・中学校の再編とで、連携を取りながら取組を進めていく。</p>
14	11.21(日)	修斉	発言者G	<p>小中一貫校の設置場所を、なぜ葛城中学校にしたのか。老朽化も進んでおり、廃校のような見た目でも魅力を感じない。安易に中学校があるから、とその場所を設定したのか、他に財政的な理由があって設定したのか。</p> <p>もし小中一貫校を設置するのであれば、子どもたちが通いたいと思える、もっと魅力のあるものにすべくお金を使ってほしい。</p>	<p>今回の実施計画（案）については、各学校の規模、配置バランス、通学距離、地域コミュニティ等を総合的に勘案し、中学校区を基本的な適正化単位としてお示ししたところ。</p> <p>例えば、中学校同士を統合することになれば、かなり広範囲な統合になるため、小学校を閉校するよりも、さらに影響が大きくなる。</p> <p>葛城中学校の中には、確かに老朽化が進む校舎もある。今回の取組に際しては、そのような校舎の建替も含めて、小中一貫校として魅力のある学校施設に向けて検討していく。</p> <p>また、学校の閉校に際して生じる、ランニングコスト等の財政的効果については、教育の充実に再投資していきたい。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
15	11.21(日)	修斉	発言者H	<p>（仮称）葛城小中一貫校の魅力がない。隣接する和泉市では、すでに小中一貫校を1校新設しており、もう1校も建設が始まっている。さらにもう1校についても、設置に向けた地域との協議中である。設置済みの学校と、建設中の学校について、前者は実際に伺い、後者も図面を見たが、実態は不明も、見る限りでは非常に魅力的。これなら新しい学校がいいな、と思えるような学校。</p> <p>岸和田市はお金がないのかわからないが、新校に魅力がない。ただ、今年の岸和田市は黒字なのだが。</p> <p>先ほど質問に挙がっていた泉州山手線については、教育委員会の管轄ではなく、十分に答弁できなかったのだと思うが、市の市街地整備課のホームページにプランが掲載されており、修斉・天神山・太田校区に関する計画ができています。まだ実施はされておらず、山直北・光明校区だけが実施されている。</p> <p>太田・天神山は1項目だけだが、修斉校区に関しては3項目の記載がある。その中に「周辺の地区と連携出来るよう、地区の拠点としてふさわしいまちづくり」つまり、太田・天神山と合わせた3校区の中心になるのだとある。現在の岸和田港塔原線と泉州山手線の合流地点が拠点になるようだ。ため池を買収し、そこに綺麗で魅力ある学校を新設すれば別の意識も出てくると思うが。</p> <p>小学校はコミュニティの拠点である。例えば学校がつぶされても、新しい学校が地域コミュニティの拠点となるような学校にしてくれればよい。それが（仮称）葛城小中一貫校になるということだが、魅力あるものになっていないことが問題。</p> <p>自分は反対の立場だが、万が一進めることになれば、そこまで考えるべき。</p>	<p>岸和田市は令和2年度決算において単年度黒字であったが、市の財政状況をみると、経常収支比率、通常入ってくるお金と、通常出ていくお金がどれくらいかの割合か、というものが、100%ギリギリという状況。財政的に望ましいのは70～80%だとされているので、本市は非常に苦しい状況である。</p> <p>令和2年度決算は黒字化したものの、国からのコロナ対策交付金があり、多くの事業ができたということに加え、現在市が持っている土地・財産を売却しながら、なんとか収支を合わせている状況。これが令和8年度には、財産が売り尽くされ、再び厳しい状況となる見込みであるため、他の自治体はともかく、本市に十分財源があり、なんでもできる状況ということではないと、財務部から説明を受けている。</p> <p>一方、今回の改革によって、生まれる改革効果については、教育・保育の充実に優先的に再投資することを市長と約束できており、（仮称）葛城小中一貫校についても、老朽化した校舎について新たに建替えよう、設備のリニューアルが必要なところは改修しよう、ということで予算を投入することについても市長と合意できている。</p> <p>地域や保護者の皆様が、できて良かった、きれいな校舎になった、子どもたちが快適に過ごせる、と思えるような学校施設にしていきたい。その際には、地域、保護者、子どもたちといった様々な立場からのご意見をいただきながら、具体化を図っていく。</p>
16	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>市長との約束ということについて、市長が変われば状況も変わると思う。口頭の約束なのか。</p>	<p>首長がいつ変わる、教育長がいつ変わる、ということはわからないが、現市長及び現教育長においては、市議会で、同様の旨を答弁している。</p> <p>議会での表明については大変大きなことであり、議事録にも掲載される。単なる口約束とは異なる。</p>
17	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>改革効果の再投資ということについて、修斉小学校や天神山小学校が閉校となった場合、それらの学校経費がなくなるので、その分を新しい学校へ持ってくるのだと思うが、学校跡地について、例えば第三者に売却するということはないのか。</p>	<p>小学校は、地域コミュニティの核であり、避難場所や地域活動の拠点として活用されていることから、今後跡地活用については地域の皆様と十分に協議し、方向性を考えていきたい。</p> <p>他校区の説明会でも同様のお尋ねがあったが、その場においても、地域の意向を無視して、一方的に売却するという姿勢は持っていないという旨を明確に説明した。そういった姿勢で、皆様と協議していきたい。</p>
18	11.21(日)	修斉	発言者C	<p>学校跡地に関する姿勢についても、市議会の場で話をしてもらうことは可能か。</p>	<p>議員からの質問があれば、答弁する義務があるため、その旨を答弁することになる。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
19	11.21(日)	修斉	発言者F	<p>小学校では、通常学級と、支援学級を利用する児童がいると思う。支援学級を利用する児童の中には、環境の変化に敏感で、慣れるまでに時間がかかる子どもがいる。</p> <p>修斉小学校であれば、小規模であったり、保育所があったり、地元出身の保護者なら地域を熟知していたり、とおおよそ対応可能だと思うが、在学中に（仮称）葛城小中一貫校が設置された場合、環境の変化に敏感な子どもに関しては、大規模な学校への適応が難しいように思う。</p> <p>計画自体には賛成も反対もないが、そこについての配慮や、職員配置については資料に1行あるだけだったので、そこまで討論していないように感じる。そのあたり話し合いはあったか。</p>	<p>小中一貫校か否かに関わらず、支援を必要とする児童生徒への対応については、これまでも、これからも必要なものと認識している。</p> <p>小中一貫校では、環境変化の部分で、小・中が一緒になることで、よりスムーズになる可能性もある一方、別途問題が生じる可能性もあるため、支援を必要とする児童生徒に対しては、人材配置面も含めたより一層の対応を検討しており、討議に関しても、関係課を交えて実施してきている。</p>